

平成25年度第3回鎌ヶ谷市図書館協議会会議録

1, 開催日時：平成26年2月27日（木）午後2時～3時30分

2, 開催場所：鎌ヶ谷市立図書館3階保育室

3, 出席者

- (1) 委員： 太田直美委員 浜口貞美委員 伊藤眞由美委員
渡辺みどり委員 滝本はる恵委員 小茂田茂委員
樋口美佐子委員 稲垣麻衣子委員 山口勝巳委員
- (2) 事務局： 三宅図書館長 海老原主査 小林
- (3) 傍聴人： なし

4, 議題

- (1) 平成26年度図書館運営方針（案）について
(2) 平成26年度事業計画（案）について

5, 審議内容

委員長： 議題の「平成26年度図書館運営方針（案）」について事務局より説明願います。

事務局： ……配布資料に基づき説明……

委員長： ご質問、ご意見は、ございますか。

委員： 主要施策に、「市民参加・協働について」さらに「他機関との連携」とあるが、例えばアドバンス研修のような共催事業に関して具体的に記載されている部分はあるのか。

事務局： 「他機関との連携」では、現在、市の行政部局、男女共同参画室、生涯学習推進課と連携を取りながら共催で事業を行うと共に、資料の貸し出しを行うという形で進めていきたいと考えている。

委員： アドバンス研修は、生涯学習推進課、図書館、ボランティアの三者が共催で実施している研修であるが、その中で図書館は、資料を提供するだけでなく、運営基本方針に位置づけられている「ボランティアの育成と参加」に目を向け、もっと主体性を持って話し合いに参加していくことが大事だと思うので、是非検討してほしい。

委員： 共催の捉え方が、ボランティアと図書館で違うのではないか。そ

のため、共催事業の企画会議で、きちっと話し合っただけで企画書を作る必要がある。

委員： 今は、運営方針（案）について話し合っているのですが、アドバンス研修等の具体的な項目については、事業計画のところではどうですか。

事務局： 具体的な事業については、事業計画のところをお願いしたい。

委員長： 運営方針は、大括りで表現しないとなかなか難しいところもあるので、委員からご意見のあった個々の事業については、事業計画のところでは検討していくこととしたい。尚、連携の第一歩として、アドバンス研修に関してご意見があったことは、生涯学習推進課にも伝えていただき揉んでもらいたい。

それでは、議題の2点目「平成26年度事業計画（案）」について説明願います。

事務局： ……配付資料に基づき説明……

委員長： ご質問、ご意見は、ございますか。

委員： 本館で乳幼児を対象とするおはなし会を開催しているが、本館が遠いので参加出来ないというお母さんがかなりいるので、分館で何か出来るのであれば考えていただきたい。

事務局： 現在、本館だけで行っているおはなし会を、将来的には分館でも行っていきたいと考えている。但し、職員だけで運営していくのは厳しい状況なので、ボランティアの協力が得られるよう研修を含めて計画的に進めていきたい。こうした中で、職員の体制が整っている東部分館からスタートをさせることを考えている。

委員： 平成26年度図書館運営方針（案）における主要施策として分館機能の見直しを位置づけていることから、ご説明のあった具体的な計画を記載するようにしていただくと、図書館が今年度に重点的に何をやろうとしているのかが目に見えて納得もしていただけるのではないかと。

委員長： 東部分館においては、平成26年度からスタートさせる計画でよいのか。

事務局： そのように調整をしているところである。

委員長： 具体化されるのであれば、どこかに記載する方向で検討をお願いしたい。

事務局： 事業計画の中で記載するようにしていきたい。

委員： 図書館活動を支援する視点から、元気な高齢者にボランティア参加を市から呼びかけてはどうか。

委員： ボランティアの基本は、やって下さいではなく、その意志を持った人たちにこういうことをやるのでお手伝いしてもらえますかという呼びかけが必要である。

事務局： 図書館では、ボランティアの裾野を広げていきたいとの思いで読み聞かせなどの研修を実施しているところである。そうした中で、分館でのおはなし会は、ボランティアにお願いできるような形でのプロジェクトとして計画を練っているところである。

委員： 一つの提案であるが、図書館職員や経験のあるボランティアが、養成講座に参加した中から継続しておはなし会等のボランティア活動に携わって頂ける方々と一緒になって、活動プログラムの作成や運営に取り組んでいってはどうか。そうしたことで、活動の広がりや実効性が高まり、図書館のボランティア養成講座の目指すところとなると思う。

事務局： 平成26年度の事業計画（案）では、読み聞かせの研修をしつつ分館で活動して頂けるボランティアを育てるプロジェクトの企画を練っているところである。

委員： 配架や書架整理でのボランティアの将来的な取り組みは考えていないのか。

事務局： 以前、この分野でのボランティア活動は行われていたが、図書館業務が委託された段階から行われていない。現時点において、新たな取り組みは考えていないところである。

委員： アドバンス研修のことも事業計画に載せていただきたい。

委員長： ただいまのご意見については、アドバンス研修を担当している関係部署と調整を図って検討していただきたい。

以上、会議の経過を記載し、相違ないことを証するため、次に署名する。

平成26年 4月22日

署名人 小茂田 茂 印

署名人 樋口 美佐子 印